

SSH特別講義（6）

令和3年11月26日

11月26日（金）放課後、希望者約20人を対象に、第6回のSSH特別講義を行いました。今回は本校62回生のOBの方にお越しいただきました。

講師：樋口 真之輔 先生（広島大学大学院医系科学研究科（歯） 助教

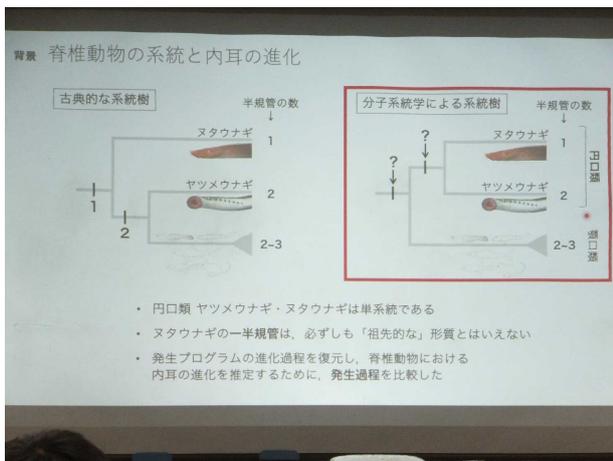
演題：動物の「形づくり」の進化を探究する

先生は現在、広島大学で歯科医師を目指す学生に生化学を教えつつ、自らの研究テーマである①歯や骨、靭帯の発生、成長についての研究や、②平衡感覚器の進化の研究、に取り組んでおられます。

これらの研究内容や、大学での仕事について、そして神戸高校での課題研究や部活動での経験（懸命に打ち込んだ陸上競技部、休部状態を再開させた化学班）などについてお話をしてくださいました。

また、また研究や学問の醍醐味とは何かについても熱く語ってくださいました。そして、非認知能力の大切さを強調されていました。

樋口先生、ご多忙の中、わざわざ母校までお越しいただき、興味深い講義をしていただきました。本当にありがとうございました。



(2016年3月 化学班OB/OG総会) (2019年3月 学位取得時 追補研究室にて)

本日のまとめ：Take Home Messages

- 進化の過程で「単純→複雑」という傾向はあるにせよ、からなずしも**単純なものが祖先的だとは限らない**。内耳はその例である。
- 生物の多くの形質は、祖先動物がすでにもっていた構造や遺伝子の「使いまわし」により獲得された。
- 遺伝子が改変された動物モデルを解析することで、ヒトの疾患が生じるメカニズムがわかる（ことがある）。
- 研究における**自分の強み**をもつことが重要。
- 「できるかできないか」よりも「**望むか望まないか**」が大切。
- 科学を「楽しむ」姿勢を大切にしたい。
- はじめから「伝えよう」という意識があるからこそ、よいデータを取れ

さらに興味のある人のために その2

課題研究を振り返って

- 研究内容が面白いのはさることながら、**生命科学の基本的な技術、考え方に触れられた**（核酸抽出、PCR、制限酵素処理、シーケンシング、……）
- 主観としては、**自分たちでテーマを決定して、試行錯誤しながら、研究を進めた**（“純粋な”研究経験）
- 生物学を学んで、**生物が好きになった**

現在でも日常的に使用する重要な技術
高校で学べたことは、幸いだった